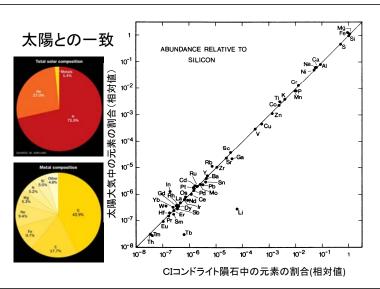
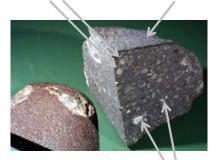
宇宙元素存在度



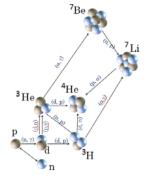
隕石 コンドリュール(球粒)

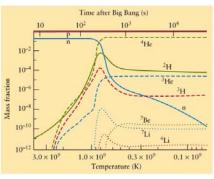
溶融表皮



宇宙空間に漂っていた粒子が 集合し、その後ほとんど変質し ていない 白色包有物(CAI)

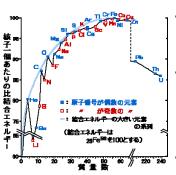
ビッグバン元素合成





- 「宇宙最初の三分間」で原子番号4まで元素ができる
- 理論計算でもとまる比率は、観測と良く合致する

恒星内元素合成:核融合反応

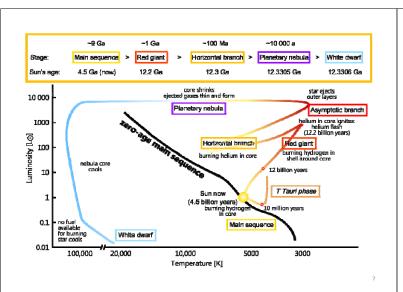


- より重い原子核を作り、 エネルギーを取り出す (光る)ことができる
- ただし鉄(Fe)まで
 - 結合エネルギーが最も大 きい
 - 軽い星はもっと手前で止 まる
- 宇宙で豊富な元素はこれ で決まっている

恒星内元素合成:核融合反応

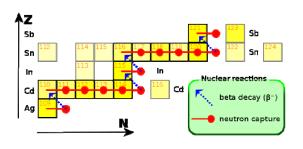
- 主系列段階: 水素(H)からヘリウム(He)
- 巨 星 段 階:He→炭素(C)→酸素(O)→ネオ ン(Ne)→マグネシウム(Mg)→ケイ素(Si)→ 鉄(Fe)





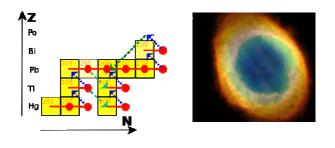
恒星内元素合成:S過程

- 漸近巨星分枝段階での核融合反応に伴い中性子が放出 される
- 中性子捕獲とベータ崩壊の繰り返しにより、鉄より重い元 素が合成される

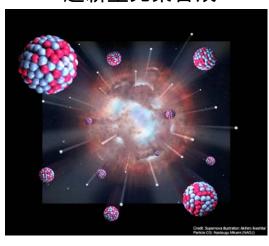


恒星内元素合成:S過程

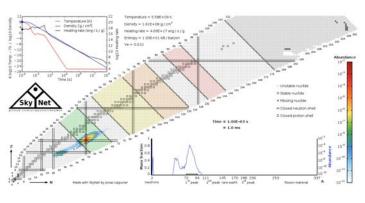
- 漸近巨星分枝段階での核融合反応に伴い中性子が放出 される
- 中性子捕獲とベータ崩壊の繰り返しにより、鉄より重い元素が合成される(原子番号83のBiまで)



超新星元素合成









11

